



春日部市非核平和都市宣言 ってなに？

春日部市が人類を死滅させる核兵器に反対し、平和を願つてることを市の内外のみんなに発表したものなのよ。

日本は、1945年8月、第2次世界大戦末期、広島（6日）・長崎（9日）にアメリカによって原子弹が落とされ、21万5千人の人々が亡くなつたわ。

この爆弾で被爆した人は、今もがや病気などで苦しんでいるのよ。



広島県産業奨励館（原爆ドーム）と爆心地付近
(米軍撮影／広島平和記念資料館提供)



宣言のひとつめに 恒久平和ってあるね！

いつまでも変わらない（恒久）平和な世界をつくりあげたいという強い思いがあるんだ。

春日部市にも戦争に行った人がたくさんいるし、亡くなった人もいるんだよ。



宝珠花尋常高等小学校での出征記念
昭和12年
(「春日部市の昭和」いき出版刊行より)



疎開（そかい）先では、家の仕事などを手伝いました
(お茶の水小学校所蔵)



鉄かぶと・手りゅう弾ほか
春日部市郷土資料館
で展示中

春日部市非核 平和都市宣言



やすらぎと希望に満ちた幸せな日々を送ることは、わたしたち春日部市民の願いです。

わたしたちは、この暮らしが脅かされることのないよう、平和な社会を目指しています。

しかし、世界各地には核兵器を始めとする大量殺りく兵器が存在し、いまだに国際紛争、地域紛争、テロ行為等の武力攻撃が行われています。

わたしたちは、市民の平和を願うところを結集し、ここに「非核平和都市」を宣言します。

一 わたしたちは、幸せな日常生活を維持し、次の世代に引き継ぐため世界の恒久平和の確立を目指します。

一 わたしたちは、核兵器や大量殺りく兵器の廃絶を強く望むとともに生命、身体、財産を脅かすあらゆる攻撃の排除に努めます。

一 わたしたちは、日頃から地域でのつながりを深め、共に助け合い、平和のこころを広く伝えます。

平成21年4月1日

春日部市



♪春日部市非核平和都市宣言の朗読動画も見られるよ♪

なぜ、核兵器はなくならないの？

残念だけど、世界で9か国が13,000発以上の核兵器を持っているよ。爆弾の放出したエネルギーが、爆風・熱線・放射線となって将来にわたり生命や地球環境を破壊するなど影響がとても大きいの。それでも、相手をおどすために核兵器を開発し、戦争を抑えようと考えている国があるわ。それを、「核抑止論」というのよ。それに対して、核兵器をなくすための努力をしている人達がたくさんいるのよ。

みんなが平和になるには どうすればいいの？

お互いの歴史や文化を知り、仲良くなることが1番なのよね！

もし、争いごとが起きても、あくまでも話し合いで解決する。そのためには、国際連合（国連）で会議を開いたり、各国の首都に置かれた大使館などで、外交を行っているのよ。

民間でも、日本の被爆者団体をはじめ、世界中の非政府組織（NGO）の人たちが、非核と平和の実現に向けて訴え続けているわ。

春日部市も、核兵器のない世界の実現に向けて取り組みを進めている平和首長会議に、日本や世界の都市とともに加盟しているのよ。



(提供: ICAN)

2017年 核兵器廃絶運動を続ける ICAN がノーベル平和賞を受賞。広島で被爆したサローネ節子さん（写真中央）とフィン ICAN 事務局長（写真右）。

戦争がなければ平和なのかな、どう？

世界では、食べ物や水が無いために、多くの子どもたちが苦しんでいるよね。

各地の水害や森林火災を起こす地球温暖化の防止も平和と結びついてくるんじゃないかな。

社会のようすをよく知り、相手の心を思いやったり、助け合ったり、平和のこころを広く伝えることは大切だよね。



うん、平和のこころを広めるって、みんながしあわせになるような気がするよ！

